

# 踏み跡 <My Mountains>

茨城(筑波)	筑波山	No.217
--------	-----	--------

平成3年7月29日

暑い夏、いくらか「涼」は得られるかもしれない。ふと思立ち、かみさんを誘って筑波山へ行ってみることにした。

天気は晴、9時15分に車で自宅を出発。国道16号線を北上して柏から常磐自動車道、土浦北インターから125号線。

11時45分に筑波山神社の町営駐車場に到着。

ケーブルカー(筑波山鋼索鉄道)は12時20分発。500m程の高度差をカーブやトンネルを交えて音を立てて登って行く。ロープウェイと違って「一生懸命登っている」感じがして良い。

山頂駅に12時30分に到着。筑波山は男体山と女体山の双耳峰からなっている。どこから見てもわかる特徴的な山である。

男体山は風もなく、ガスで眺望もない。「涼」を求めてきた我々としては少々がっかり。北の足尾山や加波山方面につながる稜線は山・山・山と連なり、南側の関東平野とは対照的な風景。

女体山(875.9m)は一等三角点があり、この山の公式な山頂になっている。女性上位の山だ。

岩峰から見下ろす眺めは良く、関東平野の縁に筑波山があることを実感することができる。涼風もたっぷりあり、ここは登ってきた甲斐がある場所だった。

下りは自分の足で歩いて、女体山からロープウェイの下を潜ってケーブルカーよりやや東側の尾根を下った。筑波山神社の駐車場に15時45分に帰着。

以上

千葉県・茨城県の山はあまり注目を浴びることはないし、あまり関心を持って見てはいなかった。この山旅の前後に地図や各種資料を調べた結果、茨城県にもよさそうな山があることがわかった。そしてその調査範囲を千葉県にも広げて行くと、同じように興味深い山を沢山発見することができた。結果的にこの旅は、後年茨城県や千葉県の山を歩いてみるきっかけになった山旅でもある。

